

噴火が起きると 噴石、火砕流、泥流などが、速いスピードで襲ってくることもあり、とても危険です。

火山の噴火から身を守るために一番大切なことは、噴火が起きる前に安全な場所に避難することですが、いつもはおとなしい火山でも、いきなり噴火することもあります。

## 気象庁が発表する 噴火に関する情報

### ▶ 噴火警報

気象庁は、噴火が起きそうな場合などに 噴火警報 を発表します。噴火警報 が発表されると、火山へ入ることができなくなったり、火山の近くに住んでいる人達に 避難 がよびかけられたりしますので、内容をよく聞いて行動してください。







### ▶ 噴火速報

もし火山が噴火した場合、気象庁はそれをいち早く伝えるため、噴火速報 を発表します。噴火速報 はテレビやラジオ、スマートフォンなどで知ることができます。火山の噴火に気がついたときや 噴火速報 が発表されたときは、すぐに 避難場所 へ行くか、近くのシェルターや大きな岩の陰 にかくれて、降ってくる 噴石 に当たらないようにしましょう。

ただし、情報を待っていては間にあわない場合もあります。もし火山で 地鳴りや煙などの異常に気がいたら、すぐに 避難し 地元の 役場や警察などに 連絡 しましょう。

### 異常と思われる現象の例

- 
・いつも煙が出ていない場所から急に煙が出てくる（噴煙・噴気）
- 
・今まで煙が出ていたけど、いつもより煙が多い（噴煙・噴気）
- 
・地面の中からゴロゴロと音が聞こえる（地鳴り）
- 
・へんな臭いがする（火山ガス）



## ふだんから気をつける事

火山ハザードマップを見て、あらかじめ危険なところを確認し、避難場所を確かめておきましょう。避難するときに必要なものは他の災害と同じですが、小さな噴石や火山灰が降ってきたときのために、ヘルメットやマスク・メガネ、目薬、傘なども準備しておきましょう。もしマスクがない時でも、座布団や濡らしたタオル、ハンカチなどがマスクのかわりになります。

火山ハザードマップは、火山が噴火したときに、どこまでどんな危険がおよぶか、どれくらい危ないのかを示す地図です。ただし、実際にはマップにある以上の災害がおきることもあるので、注意しましょう。



## 火山に行くときは

最新の火山情報を確かめてから行きましょう。火山情報はテレビやラジオ、スマートフォンやパソコンを使って気象庁ホームページなどから手に入れることができます。



いつでも安全な行動がとれるよう、火山に行く前には避難場所や避難経路、噴火が発生したときの行動（シェルターや大きな岩の陰にかくれる）を確認しておきましょう。また、噴火速報をすぐ知ることが出来るように、携帯電話やスマートフォン、ラジオなどと、それらの予備電池を持っていきましょう。